

付着生物ラーバ情報

サンカクフジツボの付着はほぼ終了しました

1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、出現数の推移は図2、3のとおりです。

(1) サンカクフジツボ

ラーバは久栗坂沖で0.6個体/m³、川内沖で1.6個体/m³見られました(表1、図2)。

(2) ムラサキイガイ

ラーバは久栗坂沖で0.6個体/m³、川内沖で3.9個体/m³見られました(表1、図3)。

(3) ユウレイボヤ

ラーバは見られていません(表1)。

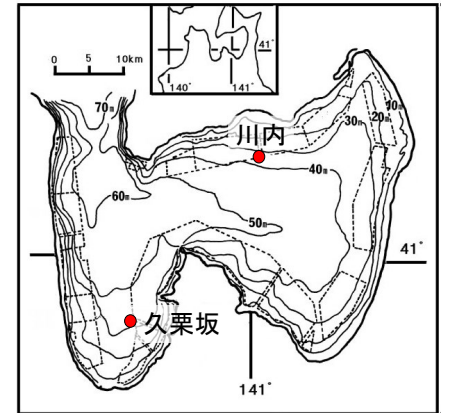


図1 付着生物ラーバの調査地点

表1 ラーバの出現状況

調査地点	調査月日	単位: 個体/m ³			
		ユウレイボヤ	ザラホヤ	ムラサキイガイ	サンカクフジツボ
久栗坂沖	R5.9.15	0.0	0.0	0.6	0.6
川内沖	R5.9.15	0.0	0.0	3.9	1.6

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 今後の見込み

(1) サンカクフジツボ

付着直前のラーバ(図4)の出現数は前回より減少し、**付着はほぼ終了**しましたが、**8~9月に多数のラーバが出現**したため、来春の**耳吊り作業の効率が低下**すると思われます。



図4 付着直前のサンカクフジツボラーバ(キブリス幼生)

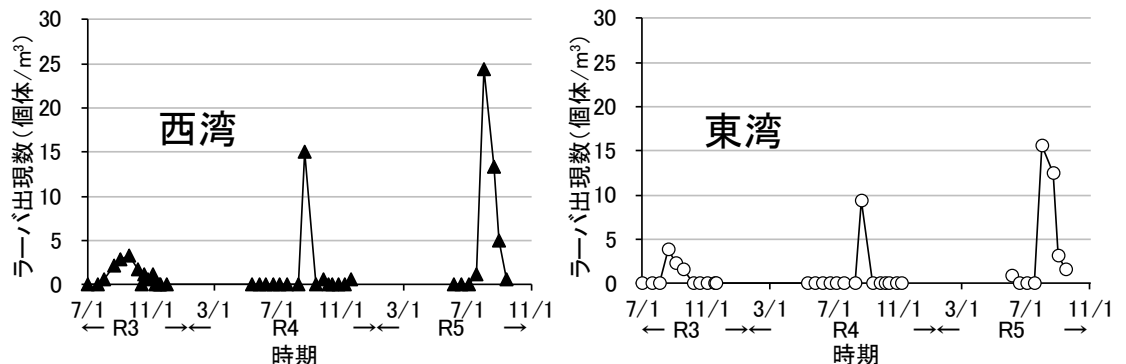


図2 サンカクフジツボラーバ出現数の推移(令和3年7月~令和5年9月)

・令和元年の観察開始から現在までの最大値: 西湾 59個体/m³、東湾 45個体/m³

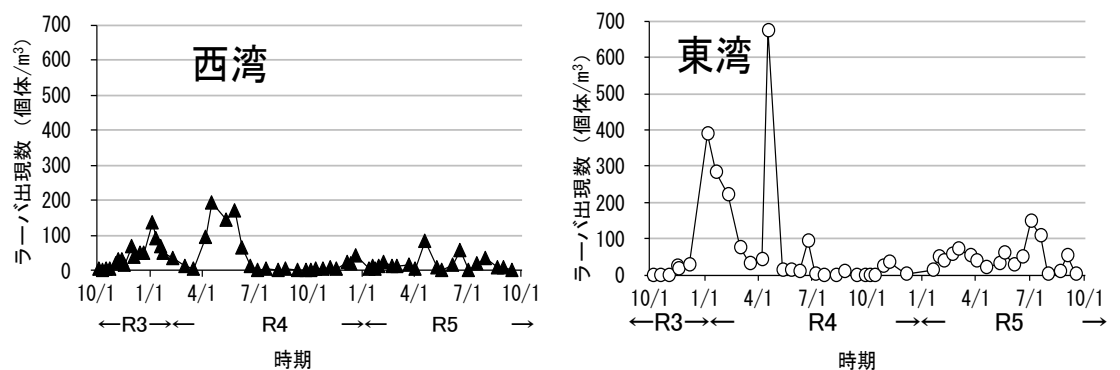


図3 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(令和3年10月~令和5年9月)

・平成27年の観察開始から現在までの最大値: 西湾 429個体/m³、東湾 1,650個体/m³

(2) ムラサキイガイ

ラーバは周年見られ、**秋から冬に向けて出現数が増加する見込み**ですが、**秋から冬生まれのラーバの付着はほとんどない**ことが分かっています。

(3) ユウレイボヤ

今秋、**中層水温が20℃を下回るとラーバが出現する見込み**です。

